

平成 26 年 5 月 1 日 00168 号

編集者:佐藤 寿春

北見武道通信

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【武道館情報】

第 9 回チャレンジカラテトーナメント道北大会が開催！

4 月 20 日(日)北見市武道館に於いて第 9 回チャレンジカラテトーナメントが開催されました。主催は、空手道北心会大会実行委員会で、幼年から高校生が対象とし、幼年の部/小学低・中・高学年女子の部/男子の部は、小学低学年と中学年男子の部(新人戦)4・5 年生クラスA/6 年生クラスA/中学生 45 kg 未満・以上/高校生男子の部が行われました。

北心会の越智 勝先生からは、「この道東の地、北見市にて行われた「第9回チャレンジカラテトーナメント道北大会」全道8市9団体により熱戦が繰り広げられました！地方大会ではありますが全日本大会等出場者も多数の参加となり各カテゴリー、レベルの高い試合となりました。大会を通じて道東圏での空手という武道が盛り上がり行くことを心から願いたいと思います。」とのコメントを頂きました。



北見市武道館落成記念弓道講習会の開催！！

北見市武道館の落成を記念した弓道講習会が4月19・20日の2日間にわたり実施されました。平成 26 年度北見市武道振興委託事業の講習会で、群馬県と千葉県より中央講師を二名招聘し、基本から応用まで熱心な指導が施されました。地元をはじめ、遠くは札幌市や岩見沢市まで36名の高

段者や指導者が参加し、先生方の一言一句を聞き洩らすまいと真剣に取り組んでいました。武道館弓道場の射場の広さや使い勝手、またその他設備の充実など大変評判も良く、盛会裏に終了いたしました。



連載 中国「老子」の思想 五十二章 小知を捨てよ

あらゆる存在には、よって来たる根元がある。その根元が「道」だ。「道」こそ、すべえの存在の根元である。

根元たる「道」に基づいて、その所産たる存在の本質を理解する。さらにまた、この理解に基づいて、存在の根元たる「道」へと遡る。この作業を反復することによって、「道」への認識は無限に深められてゆくのである。

「道」への認識を無限に深めてゆくためには、感性を没却しなければならぬ*。感性的判断に固執する限り、「道」は永遠に認識できない。

感性では捉えられぬ物事を認識することが、「明知」である。感性に存在する小知を捨てて、存在をあるがままに受容することが、「堅固」な認識の立場である。

小知を捨てて「道」にのっとり、「明知」に立ち返るなら、無限に自由な境地がひらける。

これこそが、「道」の極意に達するということなのだ。

<感性を没却しなければならぬ>原文は「その兌を塞ぎ、その門を閉す」。「兌」とは穴のことで、「門」と同じく外界からの刺激を伝達する感覚器官を指す。

原文:天下有始、以爲天下母。既知其母、復知其子、既知其子、復守其母、没身不殆。塞其兌、閉其門、終身不勤。開其兌、濟其事、終身不救。見小曰明、守柔曰強。用其光、復歸其明、無遺身殃。是謂習常。 五十三章に続く